



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2640

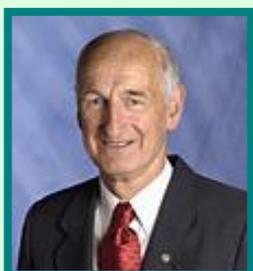
# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007.6.1

NO.12

2006～2007年度

「率先しよう」



RI 会長 ウィリアム B. ボイド



ガバナー 三軒久義

## 目 次

1. ガバナーメッセージ	1
2. ロータリー親睦活動月間によせて	2
3. W C S 海外視察報告	3～4
4. ロータリー・ジャパン インフォメーション・センター (RJIC) について	5
5. ガバナー補佐として(クラブ訪問記)	6～9
6. I. M. 報告	10～13
7. 新入会員紹介	14
8. 訃報	15
9. ポールハリスフェロー・米山功労者 (4月分)	16
10. ハイライトよねやま	17
11. 出席報告(4月分)	18
12. 6月行事予定表	19

6月はロータリー親睦活動月間



国際ロータリー第 2640 地区ガバナー 三軒久義  
ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/sangen/

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 三軒 久義



いよいよ私どものロータリー年度も、あと 1 ヶ月を残すのみとなりました。この 1 ヶ月間の地区の活動としては、5 月 3 日・ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション、5 月 12 日～16 日・世界社会奉仕バリ島視察旅行、5 月 19 日～20 日・ロータリー財団国際親善奨学金地区選考試験、5 月 26 日・第 5 回諮問委員会、5 月 27 日・青少年交換学生オリエンテーションがありました。それぞれの地区委員会の皆様、パストガバナーの皆様ご協力誠に有難うございました。また、規定審議会が 4 月 23 日～27 日までシカゴで開かれ、当地区から代表議員として中村幸吉パストガバナーに出席して頂きました。詳しくは 6 月 2 日のクラブ情報・規定委員会で報告があると思いますが、中村パストガバナーは日本の代表議員の世話人としてご活躍くださり本当にご苦労さまでした。

6 月 2 日のクラブ情報・規定委員長会議では今回の規定審議会の内容を踏まえて、もう一度 CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)についてよく検討することになっており、地区の方針も打ち出すことにしていますので、情報・規定委員長のほか、会長エレクト様の出席をお願いしています。6 月 9 日・第 5 回ロータリー財団オリエンテーション、10 日にはローターアクト地区大会とインターアクト新入生歓迎会が行われます。各委員会の皆様には最後までお世話になりますが宜しくお願い申し上げます。そして、国際大会が 17 日～20 日にアメリカ・ソルトレイクシティで今年度最後のイベントとして開催されますが、今年は当地区からの参加者が少なく、ジャパンナイトも淋しくなりそうです。

さて、2006～07 年度は WCS、RYLA などのロータリー活動を行っていないクラブの参加と会員増強を、公式訪問などを通じてお願いをして参りました。WCS、RYLA などは皆様のご協力のお蔭で成果が挙げたのですが、会員増強は思うに任せず今年に入って純増が減ってきて 4 月末では僅か 4 名のプラスになりました。6 月末で打田 RC が終結し消滅しますので今年度も会員はマイナスになりそうです。しかし和歌山 RC や田辺はまゆう RC のように 8 名、7 名と増強されたクラブもありますので、やはりロータリーの目的をはっきり知って貰って入会してくれる方を探す努力が必要だと思います。

どうか あと 1 ヶ月と申しても 12 分の 1 が残っているわけですので、もうひと頑張り ロータリー活動をして頂き後顧の憂いなきようお願い申し上げます。

梅雨の候、会員の皆様の御自愛をお祈りいたします。

## ロータリー親睦活動月間によせて



パストガバナー  
月山 和男

三軒ガバナーより「ロータリー親睦活動月間について」というテーマで月信に寄稿せよとの御下命を頂戴いたしました。こうした月間があることすら知らなかった私にとって戸惑いを感じ、早速手続要覧を聞きましたところ、第七章国際奉仕部門のP 86～87に記載されておりました。

何分にも、私がガバナーを務めさせて頂いたのが1985～86年度の事で、21年も前で、その当時にはこうした月間もありませんでした。しかし当時でも、趣味を通じ世界の人々と親睦を深め、友好の輪を広げようという国際的なグループ活動がありました。今思うとこれがロータリー親睦活動であります。たしかに2002年まではロータリー趣味職業別親睦活動（RRVF）として、R. Iの構成プログラムとして管理されており、現在ではスポーツ・趣味・職業上の関心をはじめ、幅広くなり、100団体近くへのぼり、そのすべてが国際的な親睦の友好奉仕を深める役割を果たしております。

このロータリー親睦活動はエスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに1928年に非公式に始まり、1947年にボート好きのロータリアンのグループが、自分達の船にロータリーの旗を掲げ、ロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗っていたのが始まりで、今尚活動しております。

こうした事より、ガバナーは4名よりなる地区親睦活動委員会を設置するよう推奨されておりますが、当地区におきましては未だ設置されておられません。それだけに地区のクラブにおきましても、地区のロータリアンにとりましても関心が薄いのではないかと思います。ただ、ここでこうしたロータリー親睦活動グループとして公式認定されるためには少なくとも三ヶ国のロータリアンが参加するものでなければなりませんし、同時に財政的にも管理的にも自立していなければならないので、その実をあげるのに担当の努力と経費が必要だろとう思います。

したがって当地区と致しましては、先ず地区内での趣味、スポーツ、教育、職業に関連したグループ作りに取り組んで行くことが、この月間の活動を推進する第一歩だと考えております。

尚、ロータリー親睦活動参考資料として

「親睦活動のウェブサイト」 (<http://www.rotary.fellowship.org/>)  
をおすすめいたします。

WCSの海外視察について

## 国際ロータリー第 2640 地区インドネシアにおける WCS 視察

世界社会奉仕委員長

京谷 知明 (堺フェニックスRC)



当2640地区では、昨年に引き続きWCS視察を実施しました。

各クラブが、独自の世界社会奉仕を率先して実行できるように推進し、その為には、やはり自分自身の目で見てもらいたいという目的から、今年度は「R I 3400地区インドネシア共和国におけるWCSの視察」を企画しました。昨年のタイ王国の視察参加22クラブ95名を大幅に上回る、27クラブ126名が参加し、5月12日から16日までの間、インドネシア共和国（バリ島）において様々な視察を行いました。

視察は、私たちの地区でインドネシアのバリ・タマンRCと姉妹提携している、堺清陵RCの協力により、4つのコースに分かれて行いました。

第1のコースは、田辺RC・田辺東RC・田辺はまゆうRC・白浜RCが実施した水プロジェクトの視察。

デンパサルから東へ150kmの地点、カラアサム県のバン・バリの11の各村落に対して水（貯水槽4m x 4m x 5m）プロジェクト。インドネシア国内には、水の供給不足が原因で貧困状態に陥っている地域が多数あります。遠く離れた水源地まで水を汲みに行き、水を入れた大きなプラスチックの容器を頭上に乗せて山道を歩く。それが生活用水を得る為の日課となっているそうです。そのような地域に生活用水貯水槽を造って寄贈することによって、雨季の雨水を蓄えたり、乾季に行政の配給水を受けることが可能になります。

第2のコースは、新宮RCが実施した水プロジェクト及び血液センターの視察。

バリ島東部のKarangasem県Rendang郡の4村落に対して水（貯水槽4m x 4m x 5m）プロジェクト。視察は第1のコースに記載と同様。血液センターはバリ島内の全RCによるプロジェクトにより、国立カワ病院内に建設されました。日本のRCからの多額の寄付金を基に、センターの建物・設備を整え、正常に機能できる血液センターとなりました。その後様々な事件や天災に見舞われましたが、この血液センターがなければ、さらに多くの犠牲者が出ていたのではないのでしょうか。

第3のコースは、堺清陵RCが実施した教育支援プロジェクト及び血液センターの視察。

インドネシアの学制は、高校までは日本と同じ6・3・3制で大学は5年制です。近年全国的に進学率が高くはなっていますが、都市差や貧困の差があり、義務教育の焦点も不安定な状態のようです。今回寄付金を贈ることで、就学の意志が有るのに恵まれなかった子供達25名に3年間奨学援助できる事になりました。また、血液センターの視察は第2のコースに記載の通り。

第4のコースは、堺清陵RCが支援している移動婦人検診車プロジェクト察及び血液センターの視察。

インドネシアのバリ州では、住民の70%が診療施設の不備な村で暮らしています。診察料が払えないので受診せずに治療が困難になってしまう事が多々あります。婦人検診車の巡回サービスにより、多くの女性が安心して診察を受けられ、健康についての知識を得る事もできるようになりました。また、血液センターの視察は第2のコースに記載の通り。

どのコースも貴重な体験となる興味深い視察内容でした。水プロジェクトの集落の視察は、バス等ではとても行くことのできない山道を、数台のジープに分乗して行きました。到着した村では多くの人々に出迎えられ、その人々の笑顔からも、水プロジェクトの成果を実感することができました。

小学校では、奨学援助対象の子供たちや、その家族と交流し、改めて教育支援活動の必要性を感じました。

このようにして、視察参加者一人一人が、今後もロータリアンとして、ますます超我の奉仕に努めようと再自覚した有意義な視察となりました。

この他に、RCの更なる親睦を図る為に、タマンRCを中心にインドネシアのRCと日本RCの「友好夕食会」を開催しました。第3400地区のガバナー、ガバナーエレクトをお迎えし、当2640地区の三軒ガバナー、平原ガバナーエレクト、亀岡パストガバナー、成川パストガバナー、そして第2660地区（大阪）から植村WCS委員長と茨木RCの方々…と総勢180名が出席し、泉大津RCからの水プロジェクトに対するWCS基金を贈呈しました。また各クラブのバナー交換なども行い、和やかに親睦の時間を過ごしました。

今回のWCS視察は、ロータリアンに多くの感動を与えました。その感動を一人でもたくさんの人々に伝え知らせる事が「ロータリー運動の基本」であります。それが、さらに大きな力となり、社会奉仕の輪が広がっていくことを確信しています。

たとえ小規模なWCSであったとしても、ロータリアン自身がそのプロジェクトを選定し、努力を重ねて実行することで、共にWCS活動に参加したという喜びを感じることができます。更にはクラブの自主性を最優先するという、ロータリーの原則にも合致するのではないのでしょうか。ロータリー活動の素晴らしさと、ロータリアンである喜びを感じ、世界の人道的プログラムへの関心を高める為、地区として、今後も国際奉仕活動への参加のきっかけとなる企画を考え、実行していきたいと思えます。

最後に、視察に参加された皆様方には、本当に温かく、力強い御協力を頂きました事、心より感謝致しております。今回の視察の経験や感動が、今後のWCS活動に活かされることを、期待致しております。

### WCS活動視察参加クラブ

有田RC・有田2000RC・藤井寺RC・藤井寺しゅらRC・御坊RC・橋本紀ノ川RC・和泉南RC  
 貝塚コスモスRC・河内長野RC・河内長野東RC・岸和田RC・粉川RC・松原RC・りんくう泉佐野RC・堺RC  
 堺泉ヶ丘RC・堺北RC・堺フェニックスRC・堺清陵RC・泉南RC・新宮RC・忠岡RC・高師浜RC・田辺RC  
 打田RC・和歌山アゼリアRC・和歌山中RC 以上 27クラブ

## ロータリー・ジャパン・インフォメーション・センター (RJIC) について



パストガバナー  
中島 治一郎

日本のロータリーの情報機能を一元化したいと言う願いを私が2度目のガバナーを務めました2004-05年度に皆様にご説明し、ほぼ全クラブのご了解を得て、日本在の全地区の役員さん達と努力して参りました。大体成功裡に推移致しておりますので、現状をご説明させて頂きたいと存じます。

ロータリー関係の情報に関して、エヴァンストンの本部では管理、運営を一元化し、文字メディアの『ザ・ロータリアン誌』、通信の『RI Web』、図書館の『アーカイブ』を一人の **General Manager** の下で扱っております。そうする事によって、かなりの合理化、融通性が図られ得る訳です。

例えば、国際協議会の情報を流すとき、スピードを要する事項はwebで、時間が掛かっても丁寧に伝えたい時はマガジンだと云う風に使い分けがなされているのです。

日本では、文字メディアの『ロータリーの友』、通信の『RJW』、図書館の『文庫』と、それぞれ別々に管理、運営されて参りました。

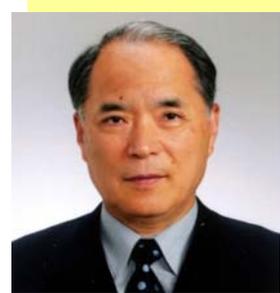
そこで、2004-05年度に、日本でも情報の一元化を図るべく努力を重ねまして、現在、『ロータリーの友』と『RJW』は事実上合体致しました。そして、『文庫』も同じ組織の中で運営されるべく母体の『RJIC』即ち『ロータリー・ジャパン・インフォメーション・センター』を立ち上げ、一元化の完了を目指して進めております。

尚、合体した新しいwebをご活用頂くには、『Rotary Japan』を検索して頂きますと、出て参ります。随分充実して参りましたので、月刊誌『ロータリーの友』と共に新しいwebもご愛用願いたいと存じます。

『文庫』は、土地の高い東京で多くの図書を用意して置くのは非経済的です。電子化して活用頂く方が、使い勝手も向上致します。そちらの方向へ持って行くべく努力中です。

## WCS事業顛末記

(インドネシア・バリ島水不足地域での水槽タンク設置)



IM1組ガバナー補佐  
村上 有司 (田辺RC)

- 2640地区では、昨年度の“タイ国WCS海外視察”に続き、今年度はインドネシア・バリ島へ120人余の大視察団を派遣し、第2回目の“WCS海外視察”を行った。私達田辺ロータリークラブ会員・家族・友人ら17名の有志は、昨年続き参加したが、今年は昨年とは違い、他クラブの“WCS事業”を視察するという単純なものではなく、私達自身が手掛けたWCS事業の進捗状況を直接把握するという重要な任務があった。
- 私は、2640地区1・M1組の内、田辺・田辺東・田辺はまゆう・白浜の4ロータリークラブのガバナー補佐をおおせつかっている。2006年9月、三軒ガバナーの公式訪問に同行した際、「各クラブ毎にWCS事業を行うことは少人数クラブでは難しい。4クラブが合同でWCS事業を行いたい」と申し上げたところ、ガバナーは即座に賛同され、「是非共よろしく御願います」と話された。私には、具体的計画があった訳ではなかったが、言い出した以上後に引けなくなり、4クラブ会長らに、合同WCS事業について検討してもらうことにした。  
一方、地区WCS委員会(京谷知明委員長)に対し、事の仔細を連絡し候補事業を上げてもらうよう依頼した。最初はモンゴル・ウランバートル近くのゲル(テント村)に、水槽タンクを寄付する計画を検討したが、遠距離であることに加え、「モンゴル出身の相撲取りが、日本で大金を稼いでいるのだから、更にWCSを実行しなくともよい」と、多少へソ曲りな考えが出て中止となった。
- その後も試行錯誤を繰り返していたところ、インドネシア・バリ島の北部で水不足で大変苦勞をしている人々がいることを知った。バリ島といえば、観光のメッカとして世界中から多くのリゾート客が集う場所との認識であったから、その情報には驚きと同時に新鮮さを感じた。更に調査を進めてみると、リゾート客で賑わう地域は全島の3分の1弱で、それ以外の多くの地域は水不足に悩まされていることが判った。水不足地域の中にも温度差があり、①水源地に比較的近い所はパイプを敷設して直接集水することが出来る。②水源地から遠いが道路が整備されている所は、タンクローリーで水を補給することが出来る。③これらいずれの条件にも当たらない地域が最悪であり、水源地迄バケツを頭にのせて徒歩で出掛け持ち帰るしか方法がない。ここでは、子供達も生活の水を得るために駆り出され、勉学どころではないことを知った。  
地元タマンロータリークラブは、この最悪の地に雨水を貯える水槽タンク(4m×4m×5m)を寄付する運動を続けているが、資金に限りがあり需要に応えられない状況で、国境を越えてロータリアンの支援を求めている。2006年12月末迄、地区WCS委員会で取り寄せてくれた多くの資料の検討が続けられたが、本年度の“WCS視察”先がインドネシア・バリ島であることも考慮し、タマンロータリークラブの要請に応じることを内定した。

4. 年明け早々に、4クラブの会長・幹事会を開き、これ迄の経過を説明すると同時に計画への賛同を御願ひした。それ迄に「4クラブ合同（会員数約180名）でWCS事業を行う」という基本的な承認を得ていたこともあり、特別の反対もなく承諾を得た。

その後も地区WCS委員会と再三に亘り打ち合わせ、事業の具体的内容をつめ、「バリ島北部の山岳部にある9部落にコンクリート製水槽タンク（4m×4m×5m）を造る。我々4クラブは材料費を寄贈し、建設工事は地元民が行う」ことで合意が出来た。

そこで、4月13日、地区委員会を中継して、地元タマンロータリークラブ宛に、4クラブからの40万円と地区からの40万円を加え合計80万円の浄財を送金した。そして、「建設に早急に着手し、視察旅行迄に完成させてもらいたい」と要望した。
5. 5月12日、私達一行を乗せた日本航空JL715便は、未だ西の空が明るい17時35分、関西国際空港を飛び立ち一路インドネシア・バリ島に向って6時間半のフライトを開始した。「霧が深いので途中で揺れることが予想されます」とのアナウンスがあったが、たいしたこともなく定刻23時20分（日本時間24時20分）に、バリ・デンパサール国際空港に心地よい振動と共に機は到着した。空港には先行隊の人々が迎えに来てくれており、空港前に待機していた大型バスに乗り、宿泊先のホテル“ニッコウ・バリ”へ向った。さすが南国バリだけのことがあり、深夜というのにむしろ暑く、添乗員は汗を流しながら整理をしてくれていた。ホテルに着いたのは日付の変った午前1時過ぎとなり、元気だった一行も睡気と長旅の疲れで口数も少なくなっていた。簡単な説明の後、割り当てられた客室に入ると冷房がきいており、先程までの不快感を忘れさせてくれた。スーツケースの整理もそこそこに、湯船に身を横たえると一日の疲れも消えていくように思われた。
6. 翌日は1日中、自由行動日であったので、オプションツアーや買い物にと観光客気分の楽しい時間を送った。メインストリートに出ると、単車の多いのに驚いた。一台の単車に夫婦・親子が4人乗りをするという、日本では考えられない光景をよく見かけた。その単車がタクシーの間をうまく走り抜けて行くので、ヒヤッとすることが再三あった。よく事故が起きないものだと思心するが、やはり交通事故は多いらしい。
7. 旅行3日目は、今回旅行のメイン行程である“WCS事業”の視察日である。4チームに分かれて各施設を視察することになっているが、私達田辺クラブ一行は、4クラブ合同で寄贈した水槽タンクの贈呈式を行うために、バリ島北部の同島最高峰ワグン山（3170m）の中腹にある村の訪問である。車で片道4時間余り、悪路を走破するという最もハードなコースである。

その晩に地元ロータリークラブ主催の晩餐会が予定されており、遅くなる事が出来ず、出発時間が30分繰り上がり午前7時30分となった。田辺クラブより参加した17名の内、体調不良の2名を残し15名・地区WCS委員で色々お世話いただいている豊沢さん（和歌山中RC）と旅行会社社長（堺フェニックスRC）を加えた17名がメンバーである。ホテル前に待機中の大型バスに乗り込み出発したが、途中からタマンロータリークラブの万亀子・イスカンダールさんと3400地区ガバナー補佐が乗り込み案内役をしてくれた。万亀子さんは、タマンロータリークラブ（16年前に、女性会員だけで創立）のチャーターメンバーで、今も同クラブを指揮する実力派会員である。九州の八女出身で、東京の大学に遊学中にインドネシアの公費留学生のご主人と知り合い、結婚をしたらしい。その後、夫の母国に渡り苦節したが、バリ島で観光・旅行業を始め、今ではタクシーやバス等の運送業にも手を広げている立身伝中の人物である。今回利用している大型バスも、彼女の会社の車輛である。万亀子さんは、添乗員の経験を生かして、通常では聞けない道中案内を熱心にしてくれた。①バリ島は愛媛県とほぼ同じ広さである。②人口は約350万人である。③観光客は1年間120万人位訪れるが、日本人は約35%である。④バリ

島はヒンズー教が中心であるが、他の信者を排斥することはない。⑤350年間、東インドシナ会社（オランダ）の支配下で住民の教育は否定されてきた。スカルノが指導して1945年オランダから独立を果し、国語教育が始まったが学校制度は遅れている。⑥村部に入れば電気がきている所とそうでない所がある。住民は、朝明るくなれば起きて働き、夕方暗くなれば寝るので電気がなくとも不便を感じていない。⑦村より小さい集落（Dusun-ブスン）が社会の基本単位である。一つの集落には80～120世帯が集まり共同生活をしている（これをバンジャルという）。⑧「バリではハエヤカが多く天然痘がこわい」と言うがそれは水が多い場所であって、これから行く集落では水がないから、ハエヤカも住めないからその心配はない。」等愉快地説明してくれ、あきることがなかった。

8. 訪問地迄約150kmの距離があるが、その道中にドライブインがなくトイレ休憩が出来ない。一行の中に女性メンバーもおり立小便という訳にもいかない。バス会社では、ガソリンスタンドで給油して、トイレを借りることにしてくれていたらしいが、丁度1時間余り行った所に保健出張所（診療所）があり、トイレを利用させてもらうことになった。お世辞にもきれいといえない施設であったが、快く利用させてくれた好意に感謝し、その職員らと写真におさまる等触れ合うことが出来たが、これも旅のすばらしさかもしれない。

大型バスは、更に1時間ばかり段々畑を眼下に見ながら進んだが、突然道路脇の広場に停車した。「これから支線に入り大型バスが行けないので、小型車輻に乗り替えてほしい」といわれた。政府から借りてきたという三台の小型車輻に分乗して、未舗装の山間道に入ると腹にこたえる振動が続いた。道にはみ出している小枝をはち切りながら、車輻は走り続けた。山道はいくつにも分かれており、山懐に迷い込んでしまって、帰れなくなるのではないかとすら思われた。アグン山は、今は休火山であるが、10年程前に大爆発があり熔岩が流れたそうだ。大きな黒い石が、所々に見えるのはそのなごりかもしれない。途中で川のような場所が見えるが、今は赤い土がむき出しになっている。バリ島では雨季と乾季が半年毎に繰り返しているが、今は乾季で流れがない。逆に、雨季にはここを大水が流れ、附近を荒らしてしまうのだろう。

しばらく進むと道路が行き止まりとなり、第1番目の訪問集落“Dukult（ドクウ）”に着いた。小さな粗末な掘立て小屋のような住居があり、数人の現地の人々が物めずらしそうに私達を迎えてくれた。正面にその附近とすれば少し大きめで立派な住まいがあり、貨物車と乗用車が1台ずつ目についた。万亀子さんの説明では、この集落の中で一番の金持で村長（首長）の家とのことである。地元の人案内で、細い道を少し歩くと裏の広場に集会場らしき建物があつた。20～30人の屈強な男性がゴザを敷いて座っていた。彼らは均整の取れた体躯で、日本人が心配する肥満やメタボリック症候群とは無関係のようである。集会場の隣に、寄贈した水槽タンク（4m×4m×5m）がほぼ完成した状態で造られていたので、中をのぞいてみると予想より大きな槽であつた。これならば相当量の水が貯えられ、住民の助けになると自画自賛した。水槽タンクの正面に、ロータリーマークと共に田辺ロータリークラブ外3クラブの名前が印字されていた。これを見て、一つの事業をやりとげた満足感がふつふつと沸き上がってきた。

村長にすすめられて、私達も集会場のゴザの上に、地元の人々と対面する形で座つた。村長が、私達一同に対し、歓迎とお礼の言葉を述べた。その中で、「これで水くみが減ってうれしい。」と話した後、「教育問題にも頭を痛めていたが、頂戴したノート・鉛筆等おみやげの文房具類は皆で分けて使わせてもらいます。」と話したのは少々驚いた。失礼だが、自給自足の生活にあけくれ、教育問題にはそれ程関心がないと勝手に思っていた私は、いさかはずかしくなつた。その後、訪問団を代表してあいさつをすることになった私は、「皆

様が水問題と同時に教育問題にも苦悩されていることを知りました。日本へ帰ったらそのことを皆に話し、協力出来ることがないか検討します」とつい言ってしまった。

Dukult (ドクウ) 村は、80世帯の人々が生活しているらしいが、住居状況からも、衣類の状況から見ても決して裕福とは思われない。電気も入っていないようで、いわゆる文化的な生活から程遠いように思われた。しかし、住民の顔には、何の不足も不満も感じられずおおらかであった。多くのプレッシャーを感じつつ生きている我々より、彼らの方が、精神的には自由で恵まれた生活を営んでいるのかもしれない。

ココナッツの実をナタで割って接待してくれ、小さなナイロン袋に入ったカシオナッツ等の産物様のおみやげをくれた。彼らの素朴であるが、心のこもった歓迎が本当にうれしかった。村長が一声掛けたところ、何処に居たのか分からないが子供達が大勢舞台に入ってきたが、その大きな目が印象的だった。みやげに持っていった文房具や折り紙をうれしそうに受け取り、何度も頭を下げていた姿がまぶたの裏に焼きついている。遠路はるかな訪問であったが、行ってよかったと思った。

9. 次に、車で30分程細い山道を走り、一谷越えてSukadane (スカダナ) 村を訪問した。この村は125世帯の人々が生活しているとのことであるが、多くの人々が村の広場で歓待してくれた。その中から一人の盲目の男性が、静かな心にしみる笛の音を聴かせてくれた。彼は、インドネシア国内の大会で優勝した笛の名手であるらしいが、何の楽器でも上手に演奏出来るとのことである。身なりは粗末であるが、その態度には気品と自信があふれていた。

一人の女性が奇声をあげて走り回っていたが、集団の人々は特に気にすることもなく、にこにこ見ていただけである。ここらにも、この地に住む人々のおおらかさと共同社会の家族意識があるように感じた。Sukadane (スカダナ) 村にも、前の村と同じく寄贈した水槽タンクが完成し、水槽の中央にロータリーマークと共に「田辺・田辺東・田辺はまゆう・白浜クラブ・・・ジャパン」のローマ字が鮮やかに刻されていた。私達はもう一度この地を訪問することはないかもしれないが、水槽タンクと共に4クラブの名前は長く長く残されるだろう。そしてこの水槽タンクは、住民の生活の大きな助けになることだけは間違いない。

10. この他の部落でも、私達の訪問を心待ちにしてくれていたようであるが、時間の関係で行けず残念であった。

今回の旅は、国境を越えたロータリーの社会奉仕活動=WCSの意義を、私らに再確認させてくれた貴重な体験であった。



## I. M. 報告

各I. M. よりいただいた資料を抜粋して月信に掲載いたしました。



2006～2007年度 国際ロータリー第2640地区 第6組

## インターシティ・ミーティング報告書

## ◆参加クラブ◆

岸和田RC・岸和田東RC・岸和田北RC・岸和田南RC・貝塚コスモスRC  
 泉佐野RC・りんくう泉佐野RC・関西国際空港RC・泉南RC・阪南RC・貝塚RC

計11クラブ

日 時 平成18年11月4日(土)  
 事前会議 登録受付 10:30～11:00  
 本会議 登録受付 13:00～13:30  
 会場 全日空ゲートタワーホテル大阪  
 泉佐野市りんくう往来北1番地 TEL(072)460-1111

ホストクラブ 貝塚ロータリークラブ  
 TEL(072)439-0215 FAX(072)439-0225

## プログラム

## 【事前会議】

時 間	項 目	担当及び該当者・その他
10:30～11:00	登録受付／4階ロビー	入会5年未満会員と各会議担当者
11:00～13:00	1. フレッシュ会員の集い (入会5年未満会員) 2. ロータリー情報・規定(CLP)委員長会議 3. ロータリー財団委員長会議 4. 米山奨学事業委員長会議	ガバナー・地区役員及び クラブ入会5年未満会員 地区役員及びクラブ委員長 地区役員及びクラブ委員長 地区役員及びクラブ委員長

## 【本会議】

13:00～13:30	登録受付／4階ロビー	I. M第6組全員対象	
13:30～16:25	開会式 点 鐘 国歌斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」 ガバナー、バスターガバナー、地区役員の紹介 出席報告、参加クラブ紹介 開会の辞 歓迎の言葉 ガバナー挨拶 ゼネラルリーダー挨拶 講 演 テーマ『“虎エコノミスト”大いに語る』 (稿模様の『関西経済』を展望する) 総括・総評 次年度ホストクラブ紹介 次年度ホストクラブ挨拶 閉会の辞 点 鐘 閉会式	IM SAA ホストクラブ会長 指揮 ソングリーダー ゼネラルリーダー 登録委員長 実行委員長 ホストクラブ会長 ガバナー ゼネラルリーダー 大阪学院大学教授 経済評論家 ゼネラルリーダー ガバナー 貝塚コスモスRC会長 実行副委員長 ホストクラブ会長 IM SAA	佐納世志子 尾道 博 竹本 欣司 溝口 孝光 前窪 貫志 塩谷 一郎 奥田 稔 尾道 博 三軒 久義 前窪 貫志 国定 浩一 前窪 貫志 三軒 久義 松岡 一友 福井 芳弘 尾道 博 佐納世志子

【懇親会】

16:30~18:00	開会 開宴の辞 表彰 (各クラブ) 乾杯 佐川 満男 トーク&歌謡ショー	IM 副SAA 木下 昇三 会長エレクト 小西喜代一 ゼネラルリーダー 前窪 貫志 ガバナーエレクト 平原 祥彰
	閉宴の辞 閉宴	直前会長 水谷 嘉男 IM 副SAA 木下 昇三



第6組 インターシティ・ミーティング本会議



2006年~2007年度 国際ロータリー第1640地区  
第6組 インターシティ・ミーティング



開会点鐘



出席報告

2006～2007年度 国際ロータリー第2640地区 第1組  
インターシティ・ミーティング報告書

日 時 2006年10月21日(土)  
場 所 新宮商工会議所 関西電力新宮営業所

ホストクラブ 新宮ロータリークラブ



ゲスト・佐藤春陽新宮市長 中村幸吉バスターガバナー 三軒久義ガバナー 平尾寧章ゼネラルリーダー



上野山英樹地区慣習・規定委員長 平原祥彰ガバナーノミニ 大江紀明会長 向井一雄 IM 実行委員長



↑ 本会議会場・新宮商工会議所  
→ 本会議会場・来賓紹介

↑ 本会議場・手につかないでを唄う

2006-07年度国際ロータリー第2640地区第1組IMプログラム

時間表	会場	事項	担当・その他		
11:30~12:00(30分)	新宮商工会議所	事前会議登録受付	登録委員会(各委員長会議メンバー、入会5年未満会員)		
12:00~13:00(60分) 同時進行 昼食も含む	関西電力新宮営業所	事前会議(部門別会議)	司会	インストラクター	
		フレッシュ会員の集い (入会5年未満)	大坂 一彦	ガバナー 三軒 久義 バストガバナー 平尾 寧章 ガバナーノミニー 平原 祥彰 情報・規程委員長 上野山 英樹 情報・規程委員 大川 敏彦	
	ロータリー財団 正副委員長会議	西 博之	副代表幹事 岸脇 利一 ロータリー財団部門カウンセラー補佐 岩本 行弘 ロータリー財団奨学金委員長 吉野 憲太 ロータリー財団学友委員長 川端 健夫		
	新宮商工会議所	米山奨学記念会 正副委員長会議	木下 真人	米山奨学部門カウンセラー補佐 松下 光春 米山奨学事業委員 亀井 三郎 ガバナー補佐 村上 有司 ガバナー補佐 玉置 素作	
12:30~13:30(60分)	新宮商工会議所	本会議登録受付	登録委員会		
13:30~13:50(20分)		本会議開会式	司会 IM SAA 尾崎 幸雄 点鐘 ホストクラブ会長 大江 紀明 君が代・奉仕の理想 ソングリーダー 杉本 義和 開会の言葉 IM委員長 向井 一雄 歓迎の言葉、栄賞・ガバナー紹介 ホストクラブ会長 大江 紀明 祝辞 新宮市長 佐藤 春陽 ガバナー挨拶 ガバナー 三軒 久義 ゼネラルリーダー挨拶 ゼネラルリーダー 平尾 寧章 参加クラブ紹介・出席報告 登録委員長 貞宗 幸史		
13:50~14:40(50分)		基調講演	【CLPについて】	バストガバナー 中村 幸吉	
14:40~14:55(15分)		休 憩			
14:55~16:05(70分)		自由討論会 テーマ【CLP】 バストガバナー 中村 幸吉 ゼネラルリーダー 平尾 寧章	司会 IM運営委員長 向井 一雄 田辺RC、田辺東RC、田辺はまゆうRC、白浜RC 串本RC、那智勝浦RC、新宮RC		
16:05~16:35(30分)		閉会式	司会 IM SAA 尾崎 幸雄 講評 ゼネラルリーダー 平尾 寧彰 総評及次期ホストクラブ紹介 ガバナー 三軒 久義 次期ホストクラブ挨拶 田辺RC会長 坪井 敏行 閉会の言葉 IM副委員長 大前 嘉助 点鐘 ホストクラブ会長 大江 紀明		

# 新入会員紹介

4 月



みちうえ しょうじ  
**道上 昇次**

所属クラブ：海南RC  
職業分類：葬祭業  
生年月日：1950年9月15日

コメント：



やまし てつじ  
**山西 徹治**

所属クラブ：海南RC  
職業分類：内科医  
生年月日：1959年3月11日

コメント：



てらだ としはる  
**寺田 利治**

所属クラブ：貝塚RC  
職業分類：不動産管理  
生年月日：1947年4月30日

コメント：今度、入会させて頂きました。何も解りませんが宜しくご指導お願いします。



かしい けんいち  
**樫井 賢一**

所属クラブ：関西国際空港RC  
職業分類：不動産サービス  
生年月日：1949年4月25日

コメント：再入会



おかもと やすひろ  
**岡本 保弘**

所属クラブ：関西国際空港RC  
職業分類：免税品等販売  
生年月日：1951年9月14日

コメント：



おおみ そうすけ  
**近江 荘介**

所属クラブ：岸和田北RC  
職業分類：水道工事業  
生年月日：1960年2月8日

コメント：入会させていただきました。これを機会に職業を通しての新たな研鑽を積み重ねたいと思います。



ふくしま としゆき  
**福島 俊之**

所属クラブ：高石RC  
職業分類：石油化学誘導品製造  
生年月日：1953年1月28日

コメント：よろしく申し上げます。



かつら ひろみ  
**葛良 浩見**

所属クラブ：富田林南RC  
職業分類：建築業  
生年月日：1964年9月9日

コメント：どうぞよろしくお願い致します。



よしだ あつお  
**吉田 篤生**

所属クラブ：和歌山東RC  
職業分類：染色加工  
生年月日：1966年11月29日

コメント：よろしく申し上げます。



## 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



たにぐち さだゆき

谷口 定之様 (関西国際空港RC)

2007年4月14日死去

在籍期間：7年7ヶ月

職業分類：産科医

ポールハリスフェロー：PHF

米山功労者：第1回米山功労者

生年月日：1931年9月30日



## PHF・ベネファクター（4月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
深谷 政男	2	海南東	吉澤 逸人		堺東
中村 雅行	2	海南東	岡本 勝士	2	堺フェニックス
新井 宏昌	1	岸和田北	坪井 敏行	BE	田辺
三森 勇作	2	岸和田北	岸裏 広澄		和歌山東
江口 祇董	1	堺東	豊田 英三		和歌山東
佐竹 哲司郎	1	堺東	井口 廣昭	BE	和歌山南
寺山 武夫	2	堺東	南方 克己	2	和歌山南

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

## 米 山 功 労 者（4月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
森岡 一朗	3	那智勝浦	大引 泰造	6	堺おおいずみ
堀畑 好秀	4	堺北	大森 好宏	2	忠岡
池田 茂雄	4	堺北	野村 利治	3	田辺
北田 和八	4	堺北	丸山 博之	4	田辺東
中田 学	1	堺北	内芝 殷典	5	田辺東
田中 朝彦	4	堺北	小野 正克	1	和歌山南
武田 正	4	堺北			

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

.....  
★ ハイライトよねやま 87号 ★                      2007年5月11日発行  
.....

:: 今月のトピックス ::

---

1. 寄付金速報 — 再び前年同期比減少! —
2. 現地採用奨学金、第2期生の募集がスタート
3. マラリア根絶に向けた新薬研究で若手科学者賞受賞  
【米山学友 金恵淑さん】
4. 新モンゴル高校校長ジャンチブ・ガルバドラッハさんが事務局来訪

# 第2640地区 出席報告 (2007年4月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率
	05.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計					05.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計			
有田	40	39	0	1	0	2	3	82.72	87.64	大阪狭山	6	5	0	0	0	1	4	70.00	80.50
有田南	43	39	0	0	0	4	4	94.92	91.52	りんくう泉佐野	27	27	0	0	0	0	4	77.69	82.81
有田2000	19	20	0	1	0	0	4	80.00	79.15	堺	80	75	0	1	1	6	4	93.88	90.91
藤井寺	13	13	0	1	0	1	4	92.30	85.37	堺東	32	34	0	2	0	0	4	98.17	96.55
藤井寺しゅら	17	17	0	0	0	0	4	93.80	91.10	堺北西	19	17	0	1	0	3	4	84.37	72.75
御坊	57	57	0	1	0	1	4	89.50	85.51	堺泉ヶ丘	24	24	0	1	0	1	4	91.30	92.56
御坊東	20	20	0	0	0	0	4	88.75	87.75	堺北	42	42	0	3	0	3	4	85.35	74.25
御坊南	34	35	0	1	0	0	4	89.71	88.31	堺南	39	39	0	3	0	3	4	89.85	89.98
羽曳野	31	31	0	2	0	2	4	92.30	94.24	堺中	33	32	0	0	0	1	4	70.31	68.73
羽衣	25	26	0	1	0	0	4	71.00	80.03	堺南西	4	5	0	1	0	0	5	60.00	80.00
阪南	20	16	0	1	0	5	4	85.94	77.23	堺西	26	26	0	1	0	1	5	85.26	92.69
橋本	53	55	0	4	0	2	4	86.73	90.44	堺おおいずみ	35	35	0	1	0	1	4	91.67	94.74
橋本紀ノ川	24	24	0	0	0	0	4	80.30	88.20	堺フェニクス	27	31	0	5	0	1	4	83.33	80.12
岩出	30	32	0	2	0	0	3	88.17	91.90	堺清陵	24	25	0	2	0	1	4	95.65	95.67
和泉	37	39	0	3	0	1	4	92.24	89.10	堺泉北	20	19	0	0	0	1	4	85.53	85.55
和泉南	36	36	0	2	0	2	5	47.42	59.28	堺東南	14	16	0	3	0	1	4	83.33	89.49
泉大津	51	51	0	2	0	2	3	80.00	77.75	泉南	24	23	0	0	0	1	3	82.53	82.91
泉佐野	37	36	0	3	0	4	4	91.97	91.67	新宮	62	60	0	1	0	3	4	81.25	84.63
海南	51	52	2	2	0	1	4	69.02	79.37	白浜	17	17	0	1	0	1	3	93.33	90.68
海南東	71	71	0	0	0	0	4	81.43	82.42	忠岡	16	16	0	0	0	0	4	77.08	73.37
海南西	24	24	0	0	0	0	4	85.20	83.92	太子	6	5	0	1	0	2	4	80.00	57.50
貝塚	25	22	1	1	0	4	4	100	98.56	高石	36	36	1	3	0	3	4	76.85	71.56
貝塚コスモス	21	22	0	1	0	0	4	83.75	91.34	高師浜	21	21	0	3	0	3	4	93.75	85.24
関西国際空港	37	39	2	5	1	3	4	71.22	70.90	田辺	87	88	0	2	0	1	4	92.81	91.63
河内長野	31	32	0	3	0	2	4	85.20	84.30	田辺はまゆう	32	39	0	11	1	4	4	68.42	77.23
河内長野東	28	30	0	4	0	2	4	96.74	94.36	田辺東	48	50	0	2	0	0	4	73.95	86.62
岸和田	56	55	0	2	0	3	4	83.00	86.20	富田林	37	37	0	0	0	0	4	73.08	76.75
岸和田東	61	57	0	1	0	5	4	91.18	92.84	富田林南	22	23	1	1	0	0	4	89.48	87.42
岸和田北	32	33	1	2	0	1	4	94.17	96.06	打田	13	11	0	0	0	2	4	100	93.33
岸和田南	21	21	0	1	0	1	4	94.05	94.29	和歌山	69	77	0	11	0	3	4	89.23	90.38
粉河	27	24	0	1	0	4	4	91.67	86.30	和歌山アゼリア	50	48	0	5	0	7	4	77.78	80.00
高野山	26	27	0	1	0	0	4	91.50	89.46	和歌山東	60	63	1	4	0	1	4	86.70	89.10
串本	10	10	0	0	0	0	4	80.00	70.77	和歌山城南	40	43	0	4	0	1	4	86.19	86.89
松原	46	41	0	2	0	7	4	92.00	85.08	和歌山北	50	52	0	4	0	2	4	77.78	78.33
松原中	28	23	0	0	0	5	4	73.81	80.48	和歌山南	89	87	0	5	1	7	4	83.00	82.17
美原	23	24	0	2	0	1	3	93.60	91.90	和歌山中	34	34	0	1	0	1	4	80.56	81.63
那智勝浦	22	20	0	0	1	2	3	81.67	74.14	和歌山西	22	22	0	0	0	0	4	95.00	94.99
大阪金剛	33	32	0	1	0	2	4	91.93	86.30	和歌山東南	39	41	0	3	0	1	4	87.84	87.16

クラブ	7月1日クラブ会員数				4月末クラブ会員数				4月平均出席率	入会		退会	
	男性	2451	女性	135	男性	2450	女性	140		4月	累計	4月	累計
76	2586				2590				84.65	9	140	5	136

6 月 ローター親睦活動月間

1日	(金)		
2日	(土)	クラブ情報・規定委員長およびクラブ会長エレクト合同会議	全日空ゲートタワーホテル大阪
3日	(日)		
4日	(月)		
5日	(火)		
6日	(水)		
7日	(木)	富田林RC創立 45 周年記念例会	都ホテル
8日	(金)		
9日	(土)	第5回財団奨学生オリエンテーション	和歌山 JA ビル
10日	(日)	ローターアクト 地区大会 インターアクト新入生歓迎会	いずみの森ホール ホスト: 初芝富田林高校 清風南海高校
11日	(月)		
12日	(火)		
13日	(水)		
14日	(木)		
15日	(金)		
16日	(土)		
17日	(日)	国際大会 アメリカ ユタ州ソルトレイクシティ	ソルトレイクシティ
18日	(月)	↓	↓
19日	(火)	↓	↓
20日	(水)	↓	↓
21日	(木)		
22日	(金)		
23日	(土)		
24日	(日)		
25日	(月)		
26日	(火)		
27日	(水)		
28日	(木)		
29日	(金)		
30日	(土)		



国際ロータリー第2640地区  
ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L http://www.rid2640g.org/sangen/

勤務時間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 永島 龍弘

事務職員 山本千恵子 平田有紀子